

第七十四回
帝國議會
貴族院

職員健康保險法案特別委員會會議事速記録第四號

付託議案(追加)

民族優生保護法案

昭和十四年三月十九日(日曜日)午前十時
二十五分開會

○委員長(男爵大森佳一君) 開會ヲ致シマス、船員保險ニ付キマシテノ御質問ヲ願ヒマス

○子爵富小路隆直君 資料ヲ戴キタイノデゴザイマスガ、先ヅ第一ニ、政府デヤッテ居ラレマスル共濟組合等ニ於ケル給與金、或ハ贖出金ト云フヤウ名義デ出シテ居ラレル所謂補助金ノ率、ソレノ調ヲ戴キタイト思ヒマス、鐵道省トカ遞信省、印刷局ノヤウニ、マダ外ニモアルガラウト思ヒマスガ、サウシテソレハ年金制ノアル所ダケデ結構デゴザイス、ソレカラモウ一ツハ、此ノ法案ヲ拵ヘラレマスルニ付テ船主ノ團體トカ、又海員ノ團體等ニ一應意見ヲ聽カレタト思ヒマス、サウ云フ際ニ纏ッ答申ノヤウナモノデモアリマスレバ、サウ云フモノノ寫シ、ソレカラ愈々案ガ出來テカラ調査會ニ掛ケラレタト思ヒマスガ、其ノ場合ニ於ケル速記録ノ寫シト云フヤウナモノヲ戴キマス、大變此ノ法案ノ審議ニ便宜ガアルヤウニ思

ヒマス、委員長カラ宜シク御傳ヘ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(男爵大森佳一君) 畏リマシタ、宜シウゴザイマスガ、成ベク早く……

○政府委員(進藤誠一君) 明日……

○委員長(男爵大森佳一君) 出來タモノダケデモ宜イデスカラ……

○政府委員(進藤誠一君) 今日出來テ居リマスレバ今日、出來テ居リマセヌケレバ、明日……

○委員長(男爵大森佳一君) ソレダケデ宜シウゴザイマスガ

○松岡潤吉君 私ハ抽象的ノ質問ハ避ケマシテ、實際問題ニ關シテ簡潔ニ二三政府ノ御所見ヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマスガ、曩ニ本法ノ原案ニ於キマシテ、保險料ハ政府ト船主ト船員ノ三者ガ均等ニ之ヲ負擔スルコトニ規定サレタヤウニ承知シテ居ッタノデアリマスガ、今回任意均等負擔ノ原則ヲ變更サレテ、政府ガ五分ノ一、船主船員ガ各五分ノ二ノ負擔率ニ本案ヲ變更サレテ提出サレタ理由ニ付テ伺ッテ見タイト思フノデアリマスガ、又元ノ原案通りノ負擔率ニ修正スルノガ妥當ダト考ヘルノデアリマ

スガ、修正サレル御意思ガアルカドウカ、併セテ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(廣瀨久忠君) 只今御質問ノ點ハ非常ニ重要ナ問題デアリマシテ、是ハ初メハ厚生省ノ委員會ニ於ケル當時ノ答申案トシテハ三分ノ一政府、三分ノ一事業主、三分ノ一船員負擔、斯ウ云フ形ニ相成ッテ居リマシタノデアリマスガ、併シ色々研究ヲ致シ、政府トシテ關係ノ向ト協議ヲ致シマシテ、結局ニ於キマシテ政府トシテハ矢張り五分ノ一ガ妥當デアラウ、此ノ種ノ長期給付ハ海員ニ對スル特別ナ制度デアルカラ、是ハ認メルトシテモ、政府ノ負擔ハ先ヅ是ハ五分ノ一位ニスルノガ妥當デアルト云フ結論ニ到達シタノデアリマス、何故妥當デアアルカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ矢張り特ニ海員ニ對シテ斯ウ云フモノヲ認メルノデアルカラ、ソレ程政府ガ多ク負擔スルノハ、政府ノ財政ノ都合モアルシ、又他ノ方面トノ色々關係モアルシ、先ヅ此ノ位ガ妥當デアルト云フ認定ヲ政府デハ致シタ譯デアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、是ハ五分ノ一デ是非ヤッテ行キタイ、從ヒマシテ修正サスルト云フヤウナコトニ付キマ

シテハ、政府トシテハ、同意申上ゲ兼ネル譯デアリマス

○松岡潤吉君 次ニ御尋ネシタイコトハ、現在ノ船員ノ福利増進及ビ生活ノ安定ニ付テ、海事協同會ニ於テ政府ノ指導保護ノ下ニ、船主及ビ船員ノ兩者間ニ規約ガゴザイマス、之ヲ嚴重ニ履行シテ居ルノデアリマスガ、同一目的ノ爲ニ別ニ法律ヲ制定サレテ、更ニ船主ヲシテ二重ノ負擔ヲ爲サシメルト云フコトニナリハシナイカト考ヘラレルノデアリマスガ、此ノ邊ノ御所見ハ如何デゴザイマセウカ

○政府委員(進藤誠一君) 只今ノ御質問ノ現在海事協同會デヤッテ居リマス類似ノ給與ハ、是ハ船主船員ノ間ニ所謂團體協約ヲ結ンデ、其ノ定メニ依ッテ實行致シテ居リマスノデ、政府ノ法制ニ依ルノデハナイノデアリマス、併シナガラ此ノ船員保險ガ出來マスレバ、年金制度ガ出來、又年金ニ至ラザル者ハ脫退給與金ト云フヤウナ、所謂退職賜金ト經濟上似タ關係ノモノガ出來ルノデアリマス、ソコデ從來ノ勞資協調ノ退職賜金ト金高ノ關係ニ於テ重複スル部分ガアリマス、ソレデサウ云フ法律ガ出來タ上ハ、勞

資相互間ニ於テ適當ニ調節スルト云フコトニナツテ居リマス、之ニ付テハ政府モ最モ公正妥當ナ方法ニ於テ兩者間ノ斡旋ヲスル、斯ウ云フ申合セガ固ク出來テ居ル次第デアリマス

○松岡潤吉君 本法ノ脫退手當給與額ハ相當多キニ過ギルヤウニ考ヘルノデアリマス、之ヲ金額ヲ保險料割増ノ趣旨ニ副フト共ニ、船員ヲシテ中途デ他ニ轉業セシムルヤウナ弊ニ陥ラシメナイヤウニスルト云フコトモ、考ヘテ行カケレバナラスノデスガ、此ノ點御所見ハ如何デアリマセウカ

○政府委員(進藤誠一君) 脫退給與金、是ハ實ハ此ノ保險ノ法律ノ本旨ト致シマシテハ、寧ロ從デアリマス、主眼ノ點ハ年金ニアルノデアリマス、十五年以上勤メタ者ニハ年金ヲヤルト云フノガ目的デアリマス、唯十五年以内デ事情已ムヲ得ズ辭メナケレバナラス者モアリマセウケレドモ、ソレニ對シマシテハ本人ガ掛ケタ掛金デアリマスカラ、之ニ利息ヲ付ケタ額ト云フモノヲ基トシテ算出シタ額ヲ返スト云フノデアリマシテ、之ニ政府ノ補助トカ何トカ云フモノガ廻ル計算ニハナラナイノデアリマス、從ッテ只今仰シヤルヤウナ十五年以内デ早ク海員ヲ辭メル者ヲ、何ト申シマスカ、獎勵ス

ルトカ云フヤウナコトニハナラヌヤウニ出來テ居リマス、從ヒマシテ其ノ金額モ一箇月乃至十箇月ト云フヤウナ少額ノモノニナツテ居リマス

○松岡潤吉君 本法ハ船員ノ海上勤務十五年ニナツテ居リマシテ、年齢五十歳ニナルト終身年金ヲ給與セラルト云フコトデアリマス、之ヲ船員ノ勤務ヲ二十年ニシテ、年齢ハ五十五歳ニ修正スルト云フコトガ妥當デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、政府ノ御所見ハ如何デスカ

○政府委員(進藤誠一君) 養老年金ノ給與ノ資格ニ付キマシテ、本案デハ十五箇年海上勤務ヲシタ者トス様ニナツテ居リマス、之ヲ二十年ニ延シタラドウカト云フ御質問デゴザイマスガ、此ノ年金取得資格ノ期間ト云フコトニ付キマシテハ、相當慎重ニ調査審議ヲ致シタノデアリマス、海上勞働ノ特殊性、ソレカラ陸上ニ於ケル其ノ他ノ例或ハ外國ノ例ト云フヤウナモノヲ種々參酌致シマシテ、十五年ガ妥當デアルト云フコトニナツテ居リマス、其ノ理由ノ主ナルモノヲ申上ゲマスト、此ノ海上ニ於ケル十五年ト云フコトハ、陸上ノ普通ノ勤務ニ致シマスレバ約二十年ニ當ルノデアリマス、ソレハドウ云フコトカト申シマスト、普通ノ陸上

ノ會社工場ニ於キマシテハ、勤務期間ト云フモノハ、最初勤メテカラ辭メルマデノ全期間ガ入ルノデアリマス、處ガ海上勤務デハ、所謂船員ト云フ者ガ法制上左様ニ定義サレテ居リマスガ、最初勤メテカラ辭メル迄ガ船員タル期間デナイノデアリマシテ、一航海即チ雇入レカラ雇終リ迄、例ヘバ歐洲航路ナラバ、横濱ヲ出テ横濱ヘ歸ル迄ト云フノガ船員デアリマス、陸上ニトッテ休養シテ居レバソレハ期間ニ入ラス、從ヒマシテ海上船員タル期間ガ十五年ト云フコトハ、實際ニ於テ二十年間勤メタト云フコトニナル、ソレハ一箇年ノ中、統計ノ數字デ見マ

スト、一箇年ノ中船員タル期間、海上ニ於ケル期間ハ十箇月足ラズガ平均ニナツテ居リマス、サウ致シマスト丁度十五年ト云フコトハ正味十五年ト云フ意味デ、實際ハ二十年勤メル、二十年以上勤メルト云フコトニナル、ソコデ陸上ニ於テハ二十年ガ正當デアルト云フコトデ、他ノ官廳ノ共濟組合其ノ他ノ法制デハ大抵二十年位ガ多イノデアリマス、サウ云フ譯デ十五年トスルノガ適當ト認メタノデアリマス、ソレカラ養老年金ノ開始時期ヲ五十歳ニ致シマシタガ、之ヲ五十五歳ニ引上ゲタラドウカト云フコトデアリマス、此ノ點ニ付キマシテモ亦非

常ニ重要ナ問題デアリマシテ、之ヲ非常ニ低ク致シマスルト、年ノ若クテ遊惰ノ民ヲ作ル虞ガアルト云フコトデ、ハ養老年金ノ一面ノ惡イ弊害トサヘ謂ハレテ居ルノデアリマス、ソレデ年齢ハ餘リ低クスルトガ宜クナイ、又之ヲ高ク致シマスト保護ノ方面ニ於テ缺クル所ガアル、辭メテ所得ガナクナル、處ガ年齢五十五トカ六十迄ニナラヌト年金ガ貰ヘスト云フコトニナルト、其ノ間ノ生活ニ困ル、保護ノ方ニ於テ缺クル所ガアル、ソコデ何歳ニスルノガ最モ適當デアルカ、之ニ付キマシテ陸上ニ於ケル現在ノ制度、其ノ他外國ノ例及ビ海上ノ實情ニ照シテ五十歳ガ適當デアル、斯様ニ致シタ譯デアリマス、ソレト申シマスノハ、海上ニ於ケル船員ノ現在ノ退職年齡ヲ調べ見マスト、大體四十歳カラ四十五歳位辭メテ居ルノガ多イノデアリマス、遅クモ五十歳位デ大抵辭メル、五十以上デ勤メテ居ルノハ、高級船員等ニ於テモ船長トカ機關長トカ、ソレ等ハ五十以上デアリマスガ、多クハ五十歳以下デ辭メテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ退職年齡カラ見テ、辭メテカラ成ルベクサウ長イ期間ノ經タナイ中ニ養老年金ヲヤルト云フコトデナイト、折角ノ保護ガ役ニ立タヌ、退職年齡カラ見マシ

テ五十歳ト云フコトが適當ダト考ヘタノデアリマス、ソレカラ他ノ制度ニ於キマシテハ、恩給ナゾハ是ハ支給年限ノ開始年齢ガアルノデアリマシテ、相當低ク、四十歳位デモ恩給ヲ貰フテ居ル者モアルノデアリマ

五十歳が適當デアルト斯様ニ考ヘタノデアリマス

○松岡潤吉君 申上ゲル迄モナク本法ハ、海運業ニ重大ナ影響ヲ齎スベキ劃期的ノ社會政策デアリマス、又將來性ニ付テモ深甚

ナ檢討ヲ要スル點ガ多クアラウト思フノデアリマス、先程申上ゲマシタヤウニ海上ノ關係ニ付テハ、本法制定ニ先立ッテ豫メ協同

會ノ規約トカ、各船主ノ規定セル船員等ノ待遇法トカニ付テ、重複セル點ハ之ヲ矯正

スルト云フ點ニ十分ニ其ノ準備工作ヲ遂ゲテ、萬全ヲ期スベキガ當然ノ措置ト思フノ

デアリマスガ、其ノ點政府當局ハ其ノ準備工作ヲ完全ニ遂ゲテ居ラレカドウカ、此

ノ點御伺ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(進藤誠一君) 此ノ船員ニ對スル社會立法ニ付キマシテハ、御承知ノヤウ

ニ船員ノ團體ガアリマス、ソレカラ又船主ニ於キマシテモ一種ノ共同ノ會モアリマシ

テ、ソレ等ノ意嚮ヲ十分尊重シナイト云フト、圓滿ニ行ハレナイト云フコトハ承知致

シテ居リマス、從ッテ厚生省デ此ノ案ヲ作りマスニ付キマシテモ、先ヅ第一番ニ船主、

船員ノ兩方カラ別々ニ意見ヲ十分ニ聽キマシテ、ソレ等ヲ立案ノ參考ニシテ、腹案ガ

出來マスト非公式ニ船主、船員ノ團體ノ代

表者ヲ同時ニ招キマシテ、忌憚ナキ意見ヲ

聽キ懇談會ヲ開キマシテ、又更ニ案ヲ練リ

マシテ、サウシテ厚生省ノ成案ガ出來マシ

テカラ、正式ニ保險制度調査會ニ付議シタ

ノデアリマス、此ノ保險制度調査會ニ於キマシ

テモ、船主ノ代表、船員側ノ代表ト云フモノヲ

入レマシテ、更ニ小委員會迄設ケマシテ、サウ

シテ其ノ雙方ノ意見ヲ十分ニ聽キマシテ、

最後ノ調査會案ガ出來マス迄ニハ、兩者ノ完

全ナル意見ノ一見ヲ見テ出來タ次第デアリ

マス、ソレカラ其ノ後ニ於キマシテ、先程

御質問ノ政府ノ補助金ノ率ガ減タト云フ

點デアリマス、其ノ節ニ於キマシテモ政府

トシテ已ムヲ得ヌ理由ヲ船主、船員相互ヲ

招イテ十分ニ説明シマシテ、大體ニ於テ諒

解ヲ得タ積リデアリマス、併シハ代表者

ガケデアリマスカラ、全部ニ對シテ十分諒

解ガ行ッテ居ラカドウカト云フコトニ付キ

マシテハ、是ハ或ハサウデナイ、色々御異

議モアルカト思ヒマスガ、政府トシテハ十

分爲シ得ルダケノ方法ヲ執ッテ參ッタ次第デア

リマス

○子爵富小路隆直君 只今松岡サンカラ種

種専門的ノ御質問ガアッタノデアリマスガ、

私ハ素人デスガ、一應御質問シタイト思ヒ

マス、今ノ御話ノアッタ中デ、第三十四條ノ

十五年以上五十歳ヲ超エタ者ト云フヤウナ

條文ニ對スル御質問ノ所デゴザイマス、私

考ヘマスノニ、昔カラ人生五十年ト云フコ

トヲ能ク言ッテ居ルガ、五十歳ト云フト既ニ

老衰シテ、隱退ノ時期ニ達シタト云フヤウ

ナ感じガシタノデアリマス、處ガ近年ノ傾

向ト致シマシテハ、所謂停年制ノ如キモ餘

リニ低過ルト云フ聲ガ段々ト大ニナッテ來

テ、又近頃體育運動ノ獎勵ノ普及其ノ他精

神上ノ變化モアッテ、舊來ニ比シマシテ一般

ニ若返ッタヤウナ感じガアルト云フノハ、誠

ニ喜バシイコトダト思フノデアリマス、サ

ウシテ確カニサウ云フ傾向ガアルノデハナ

イカト私ハ思フノデアリマスガ、又人的經

濟上ヨリ見マシテモ、時局柄海員ノ需要ハ

益々多イノデアリマス、我ガ國將來ノ發展ニ

考ヘマスル時ニ、五十歳ヲ以テ癡人扱ヲシ

テ、年金制ヲ開始シテ遊惰ノ民ヲ作ルト云

フヤウナコトハ、一見非常ニ海員ヲ優遇ス

ルカ如クニ見エルノデアリマスガ、其ノ實

精神的ニモ又肉體的ニモ、將亦人的經濟上

ヨリ見マシテモ、決シテ感心シタコトデハ

ナイト思フノデアリマス、徒ラニ心身ノ老

衰ヲ招來スルノ虞ガアッテ、是ハ近來ノ一般

ノ好傾向ニ背馳シテ、赫々タル我ガ國運ノ

發展ノ將來性ノアル時ニ、實ニ寒心ニ堪ヘ

ナイコトト思ヒマス、是ガ人心ニ及ス影響ハ少クナイダラウト思ハレルノデアリマス、此ノ點ヨリ考ヘマスルト、色々今政府ヨリ御答辯ガゴザイマシタケレドモ、未ダ急ニ私ト致シマシテハ此ノ條項ニ賛成ガ出來ナイノデアリマス、マダドウモ納得ガ出來ナイ、モウ一應政府ノ御所見ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○政府委員(進藤誠一君) 五十歳ト云フノハ、最近段々ニ日本デハ五十歳以上デモ元氣ノ者ハ皆働クト云フ習慣ニナツテ來タ、是ハ寧ロ良イコトデアアル、ソレデ五十ニナツタナラバ遊ンデ暮セルト云フヤウナ制度ヲ設ケルコトハ、寧ロ惡イコトデハナイカ、斯様ナ御話デアリマシタ、其ノ點誠ニ御尤ト存ジマス、デ五十歳デ以テ遊ンデ宜イト云フヤウナ考ハ、此ノ年金制度ニアツテモ考ヘテハ居ラヌノデアリマス、其ノ點ハ今少シク御説明申上ゲタイト思ヒマスガ、此ノ年金ノ額ニ付キマシテ、此ノ規定ニモアリマスヤウニ、現在ノ恩給ナドデハ三分ノ一、最後ノ俸給ノ三分ノ一ヲ恩給トシテヤルノデアアル、處ガ此ノ年金ノ方デハ四分ノ一トナツテ居リマス、從ヒマシテ現在ノ此ノ船員ノ給料ト云フモノハドノ位デアリマスカト云フト、六十圓位デアリマス、ソレノ

四分ノ一ト申シマス二十圓ニ足ラヌ、十圓ト云フ金デアリマス、此ノ最高ガ百五十圓ト云フコトニ止メテアリマスカラ、最高トシマシテ百五十圓ノ四分ノ一デアリマスカラ、三十圓ニシカナラナイ、サウ致シマスト平均二十圓ニ足ラナイ金、最高デモ三十圓ト云フ金デハ、是ノミヲ以テ遊ンデ暮セルト云フ金デハナイノデアリマシテ、是ハ全ク最少限度ノ生活費ダケデアリマス、デ殆ド一人ノ生活費ト云ッテモ宜イト云フ位ノモノデアリマス、ソコデ實際ニ於キマシテハ船員ヲ辭メテ陸上ニ上リマシテ、ドウシテモ他ニ何カ多少ノ收入ヲ得ル爲ニ働クト云フコトデナケレバ、此ノ金ダケデハヤッテ行ケナイノデアリマス、從ヒマシテ此ノ年金ガ出來タカラ、遊ンデ暮セルト云フコトニハナラヌノデアリマス、ソレデハコシナ不徹底ナモノヲ作ルノハ、意味ガナイデハナイカト言ハレルカモ知レマセヌガ、長イ間海上生活ヲシタ者ニ最少限度ノ生活費ト云フモノハ、ドウシテモ保障シテヤラナケレバナラナイト云フ點ガ、是ハ度々今迄大臣其ノ他ガ御説明シテ居ル所ニ依ッテモ、其ノ理由ノアルコトハ御認メ下サルト思ヒマスガ、サウ云フ理由カラ是ダケノモノハドウシテモ保障セネバナラスト云フコ

トデ設ケタノデアリマス、徒ニ遊惰ノ民ヲ作ルト云フ趣旨ニハナラナイノデアリマス

○子爵富小路隆直君 私人今申上ゲタ言ヒヤウガ惡カッタ、言葉ガ少シ足りナカッタカモ分リマセヌガ、遊惰ノ民ヲ作ル……直チニ作ルトハ私モ思ハナイノデアリマス、少クトモサウ云フ氣風ヲ起サセルコトニナリハシナイカト云フヤウニ思ヘルノデアリマスガ、尙此ノ點ハ私モ亦能ク十分検討致シマシテ、次會ニデモ又御質問申上ゲ、能ク御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(進藤誠一君) チョット此ノ際附加ヘテ置キマスルガ、船員ノ養老年金ノ開始期ヲ五十ニシマシタノハ、今一ツ斯ウ云フ理由ガアル、海上勤務ハ非常ニ過激デアリマス、ソレデ矢張り若クナケレバ勤務ニ堪ヘナイノデアリマス、大體今迄四十歳トカ四十五歳デ辭メルト云フノガ多イノハ、ソレ以上、五十歳位ニナルト海上勤務ニ堪ヘラレナイノデアリマス、ソコデ他ノ普通ノ勤勞者ナラバ、無論五十以上デモ働ケルノデアリマスケレドモ、海上勤務ハ矢張り精々五十位デヤナイカ、ソコデ海上勤務者ニ對スル施設トシテハ、五十歳位デ自然辭メル、此處ニ船員ノ停年制ト云フモノガアルノデアリマス、ソレヲ見マスルト、火夫

長トカ水夫長ト云フヤウナ長ノ宇ノ附ク者ハ五十歳デアリマシテ、其ノ他ノ一般ノ船員ハ四十歳ガ停年ニナツテ居リマス、ソレカラ其ノ中間ニ大工トカ倉庫番、副汽罐番、舵手、料理人ナドガ四十五歳迄、此ノ停年制ガ矢張リ是等ノ各ノ職務ニ依ッテ、過激ナルモノハ四十歳以上ハ働クノニ不適當デアアル、ソレカラ長ノ宇ノ附イテ居ル者ハ五十位迄働ケル、斯ウ云フ意味ニ停年制ガナツテ居ル、從ヒマシテ是ハ停年デ辭メル、ソレ以上居ッテモ餘リ能率ガ擧ラナイト云フ、斯ウ云フ特殊性ガアリマス、ソレニ對應シテ矢張り五十歳デ辭メルト云フコトハ承認シナケレバナラス、サウシテ年金ヲ支給サル、斯ウ云フノデアリマス、此ノ點ヲ實ハ申シ落シマシタカラ申上ゲテ置キマス

○子爵松平保男君 此ノ船員保險法ガ今度制定サレマシタコトハ、私トシテハ非常ニ是ハ結構ナコトト思フノデアリマス、寧ロ之ガ遲レテ居ッタ感ガアルト思フノデアリマス、然ルニ今回特ニ船員保險法ニ限ッテ年金制ヲ設ケラレタト云フコトハ、更ニ一段ノ進歩ヲ現シテ居ラレルノダト考ヘマス、是ハ外ニハマダ斯ウ云フ社會立法ノ中ニ年金制ヲ設ケラレタコトガナイヤウニ思フノデアリマスガ、之ニ付テ先ヅ牽先シテ之ヲ

設ケラレタト云フコトハ、是ハ當局ニ於テモ海上生活者ノ特異性ヲ認メラレタト云フコトデ、私ハ非常ニ此ノ御考ニ付テハ敬意ヲ表シテ居ルノデアリマス、先達大臣カラモ御説明デ、海上生活者ノ特異性ト云フコトニ付テ、色々平常ノ勤務ノ困難ナルコト、ソレカラ又家ヲ長ク空ケテ、サウシテ家庭的ノ關心ヲ犠牲ニ供スルト云フヤウナ點カラシテ、此ノ海上生活ヲ辭メタ後ニ於テモ、生活ノ安定ト云フコトニ付テ、今迄準備ガ出來カッタト云フヤウナ點モ考慮サレテ居ルト云フ點ハ、誠ニ然ルベキコトと思フノデアリマス、ソレデ能ク海上生活ヲシテ居ルト云フト、誠ニ空氣ノ良イ廣々トシタ所デ生活ヲシテ、健康ノ上ニ於テモ非常ニ寧ロ好イ影響ヲ受ケテ居ルノダト云フコトヲ言ハレル方モナイデハナイヤウデアリマスケレドモ、併シ實際ニ於テハナカ／＼サウ云フモノデハナイ、私モ長ク海軍ニ居リマシテ、船ニ乗ッテ居ッタノデアリマスガ、能クドウカスルト陸上ノ方ハ船ニオイデニナルト云フト、夏ナドハ嚙涼シクテ結構デゴザイマセウト云フヤウナコトヲ言ハレルノデアリマスガ、ソレ等ノ點ハ、誠ニ海上生活ヲシナイ方ニ取ッテ認識不足デアル、寧ロ夏ハ部屋ノ中ニ入レバ非常ニ暑クテ、夜ナドハ

迎モ早クハ寢ラレナイ、昔ノ木船デアレバ兎ニ角、今日ノヤウニ鐵船デアレバ部屋ノ中ノ暑サト云フモノハ、殆ド裸デ寢テ居ッテモ汗ガ出テ寢ラレナイ、從ッテ夜ノ更ケル迄甲板ニ出テ居ラナイト云フト寢ラレナイ、ソレガ爲ニ睡眠ガ不足シテ、サウシテ勤務ノ方ハドウカト云フト、矢張り夜中デモ當直勤務デ起キナケレバナラヌト云フヤウナコトデ、睡眠不足ヲ感ズルト云フヤウナコトデ、非常ニ身體ニハコタヘルノデアリマス、其ノ他海上ニ關スル認識ト云フモノハ、一般國民ノ間ニハ非常ニ不足デアル、是ハ我が國ノ如キ海ヲ環ラサレテ居ル國ニ於テハ、モット／＼一般ノ陸上ノ人ガ海上勤務ノ者ニ對シ、海ト云フモノニ對シテ、認識ヲ持ッテ戴カナケレバナラヌと思フ、海軍ノ發達モ餘程陸軍ナドカラ較ベテ見レバ遅レテ出發シタヤウナ點ガアル、併シナガラ非常ナ努力ニ依ッテ今日ノヤウナ風ニナリマシタケレドモ、餘程遅レテ、初メハ遅レテ居ル、サウ云フヤウナコトデ一般ノ認識ガ非常ニ足リナイ、是ハ自分ノ關係シテ居ルコトヲ申上ゲテ甚ダ恐縮デアリマスケレドモ、或海難救助ノコトニ付テ、私モ關係ヲシテ居ルノデアリマスガ、陸上ニ於テハ火災、消防ト云フヤウナコトニ付テハ、是ハ

モウ非常ニ誰モ必要性ヲ認メテ居ルケレドモ、海難ノ多イト云フヤウナコトナドハ、殆ド知ッテ居ル人ガ少イ、サウシテ是ハ實際私ノ關係シテ居ル海難救助ヲシテ居ル成績ニ見マシテモ、一日ニ十二三人位ノ救助者ガアル、ソレナニ遭難者ガ多イ、ソレニモ拘ラズ、一日十二三人ノ救助者ガアルト云フコトヲ言フト、ソレハ本當カト言フ、相當ソレハアル、併シ實際救助シタ者ガソレデアリマスカラ、救助シナイ者ヲ加ヘルトモット多數デアル、ソレナヤウナコトデ甚ダ海上ノ事ニ關スル認識ノ不足ト云フコトハ、常ニ痛感シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスノデ、今度斯ウ云フヤウナコトヲ制定サレテ、養老年金ノ制定迄ナサレタト云フコトハ結構デアリマスケレドモ、先程モ御話ニ出マシタヤウニ、國家ガ之ニ對スル力ノ入レ方、即チ例ヘバ此ノ五分ノ一ヲ補助スルト云フヤウナコトハ、是ハ他ニ斯ウ云フ養老年金ノ制度ガナイノデ、是ガ初メテ出タカラ、ソレデ五分ノ一位ガ適當デアラウ所謂他トノ權衡上至當デアラウト云フヤウナ大臣カラノ御話デアリマシタガ、此ノ點ノ如キモ、ソレハ斯ウ云フ保險法ノ趣旨ハ前ニモ御話ガアッテ、漸々ニ伸シテ行クノダ、漸進主義デ行クノダ

ト言フ、ソレハ御尤デアリマスガ、矢張り是ハ國家ガモット餘計ニ補助サレル必要ガアルと思フ、先達テチョット話ヲ伺ッタ所ニ依ルト云フト、國家ノ負擔ガ三分ノ一、二分ノ一、又ハ七八割ト云フヤウニ負擔ヲシテ居ルト云フ外國ノ實例モ相當アルヤウニ伺ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ觀點カラ行キマスレバ、モット之ヲ多クシテ戴キタイと思フ、ソレデ又一方此ノ國家ノ補助ガ多クナレバ、從ッテ船主又ハ被保險者ニ對スル負擔ト云フモノモ輕クシテ行クコトガ出來ルグラウ、ソレデ是ガ船主側ニ持ッテ行ッテ負擔ガ重イト云フコトニナルト云フト、是ハ今日海運業ガ折角發達シテ來テ、國家ノ爲ニ非常ニ有利ナル役割ヲ勤メテ居ル、此ノ海運業ヲ發達サセル爲ニハ、ドウシテモ矢張り船主側ノ方ヲ苦シメルヤウナコトガアッテハ、是ハ甚ダ其ノ發達ノ途ヲ塞グト云フコトニナッテ來ルノデアル、所謂此ノ船主ガアッテ、サウシテ此ノ海運業ト云フモノガ矢張り發達ヲシテ行ク、是ガ船主側ノ方デ、ドウモサウ云フヤウナ風デ以テ負擔ガ重クナッテハ遣リ切レナイト云フヤウナコトニナッテ來ルト云フト、是ハドウシテモ海運ノ發達ニ影響ヲ及シテ來ルコトニナルノデアリマス、サウ云フ點カラ行キマシテモ、

是ハ今日此處デ以テ先程申上ゲタ五分ノ一ト云フヲ三分ノ一位ニシテヤツタ宜カラウト、斯ウ云フヤウニ改メテ戴キタイト云フノデハナイノデアリマスクレドモ、之ニ付テ先程申上ゲマシタ國民一般的ニモ、此ノ海上勤務者ト云フモノニ付テハ特異性ガアル、非常ニ困難ナ仕事ニ従事シ、又國家ニ大ナル功績ヲ爲シテ居ルノデアルト云フコトヲ知ラセル上ニ於キマシテモ、餘程是ハ國家ガ保護ヲスルト云フコトニ付テ御考慮ヲ願フヤウニシタイト思フ、此ノ點ニ付キマシテ、將來ハ段々サウ云フ風ニモ進ンデ行ク考ガアルト云フ御考デアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイト思フノデス、恐ラク先程御答辯ニナリマシタ五分ノ一ガ適當デアルト云フコトハ、是ハ財務當局カラ、サウハドウモ出セタイト云フヤウナコトデナクテ、詰リ財務當局ノ方デ例ヘバ此ノ位出シテモ宜イ、モウ少シ餘計出シテモ宜イト言フノニ、イヤソレニハ及ビマセスト言ハレタ譯デハナカラウカト思フノデアリマスガ、將來ニ關スル御考ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

シ是ハ先程モ申上ゲマシタヤウニ、年金制度ヲ船員ノ爲ニ設ケルト云フコトハ、船員ノ本當ノ特殊性ヲ認メテ、初メテ設ケルヤウナ次第デモアリマスルシ、又之ニ依ル年金ノ額ナドカラ見マシテモ、船主ノ負擔ナドヲ考ヘテ見マシテモ、先ヅ此ノ位ノ負擔ナラ、船主モ負擔ガシ得ラレルノデハナイカ、デ私共ノ考トシテハ、現在ノヤウナ國庫ガ五分ノ一ヲ補助シテ、他ハ船主竝ニ船員ニ於テ負擔スルト云フ方法ヲ採リマシテ、是デ先ヅヤツテ行ケルモノト私共モ考ヘテ居ル譯デアリマス、將來ノ問題ニ付テハ十分ニ研究ハ致シマスガ、先ヅ是デヤツテ行ケルモノト云フ私共ハ見込ヲ持ッテ居リマス、併シ御話ノ將來ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ又十分ニ研究ヲ致ス積リデ居リマス

○政府委員(進藤誠一君) 只今大臣カラ御答辯ガアリマシタガ、尙ソレニ關聯致シマシテ御質問ニ對スル答辯ヲ補足致シテ置キマス、三分ノ一ノ國庫補助ガ五分ノ一ニ減リマシタコトハ、誠ニ私共トシテモ、年金制度ノ建前カラ言ッテ遺憾ニ思フノデアリマスガ、此ノ三分ノ一ガ五分ノ一ニ減ッタ爲ニ、此ノ制度上下ウ云フ風ナ結果ニナツタカト云フコトヲ申上ゲマス、實ハ此ノ保險ノ給付ノ内容ヲ同ジクスレバ、政府ノ出ス金ガ減ツタダケハ船主ナリ船員ナリノ掛金ヲ殖サナケレバナラス、サウ致シマスルト船主ノ負擔モ殖エ、又船員モ殖エルノデアリマシテ、色々考慮致シマシタ結果、年金制度其ノ他ニハ内容ヲ是ハ惡クスル餘地ガナイノデアリマス、其ノ點ハ手ヲ付ケマセヌデ、脱退手當金ト申シマス十五年未滿デ辭メル者ニ對シテ一時金ヲヤル、此ノ制度デアリマス、此ノ金額ヲチョット二割カ二割五分方減ラスト云フコトニ依ッテ、政府ノ補助ガ減ツタ額ハ丁度「カヴァー」ガ出來ルノデアリマシテ、例ヘテ申シマス三年位デ辭メタ者ニハ、政府ガ三分ノ一ノ補助ノ場合ハ二箇月分ノ金ヲ拂ヒマス、ソレヲ一箇月半位ニ減ス、ソレカラ最高ノ十四年デス、十五年ニ達ル一年前ニ辭メタ者ハ、三分ノ一ノ補助ノ場合ハ十二箇月分ナルト云フノヲ十箇月分ニ減ス、斯ウ云フ工合ニ、以下サウ云フ風ニシタ結果、政府ノ補助ノ減ツタ額ハ其處デ收支ガ償フノデアリマス、其ノ他ノ點ニハ影響ヲ及サズシテ、給付ノ内容モ惡クセズ、此ノ點デ納リガ付イタノデアリマス、此ノ程度デ不満足ナガラヤッテ宜イノデヤナイカ、サウ云フ風ニモ思ハレマスノデ、政府ノ金ノ減ツタ事情ノ關係カラ已ムヲ得スト思ヒマシテ、斯様ナ案ニ致シタ次第デ

ゴザイマス、一言御諒解ヲ得マス
○子爵松平保男君 モウ一ツ伺ヒマスガ、是ハ船員法第一條ニ規定スル其ノ船員ニ適用スル、斯ウ云フコトデアリマスガ、又之ニ省カレル者ガ出ル、所謂十七條ノ中デ、「前二號ニ掲グル者ノ外勅令ヲ以テ指定スル者」是ハ所謂省カレル方ノ側ニナルノデアリマスカ、是ハサウシマス云フト、漁船ハ之ニ入ラナイコトニナルヤウニ聽イテ居ルノデスガ、サウ云フ譯ニナリマスカ、三十「トシ」以上ノ漁船デモ矢張り入ラナイコトニナルノデアリマスカ
○政府委員(進藤誠一君) 只今ノ御質問ハ、十七條ノ被保險者ノ船員ト云フモノカラ除外スルコトヲ得ル條項トシテ、三ノ「前二號ニ掲グル者ノ外勅令ヲ以テ指定スル者」之ニ漁船ノ船員ヲ除クカト云フ斯ウ云フ御尋デアリマス、其ノ點デゴザイマスガ、實ハ私共ノ考ト致シマシテハ、此ノ立法ハ船員ニ對シテハ一ツノ保護立法、相當進ンダ保護立法デアリマスカラ、成ルベク廣ク保護シタイ、斯ウ云フ考デアリマシテ、十七條ハ原則トシテハ商船タルト漁船タルトヲ問ハズ入レテ保護スル、斯ウ云フ建前デアリマス、處ガ漁船ノ中ニハ、一般ノ船ノ船員ト違フ又特殊性ガアル船ガアルノデアリ

マス、例ヘテ申シマスルト季節的ニ漁業スル、鰯ヲ捕ルトカ云フモノハ、冬ノ間ダケ半年或ハ半年以下、四五箇月ダケ乗ッテ行ク、後ハ陸上ニ歸ッテ何カ他ノ沿岸漁業トカ、或ハ農業トカラヤッテ居ルノデアリマス、サウ云フ船ニ乗ッテ居ル者ハ、陸上ノ知識モアリ、此ノ高イ掛金ヲ掛ケテ養老年金ト云フモノヲ強イテ貰ハナクテモ宜イシ、又貰フニ付テモ一年ノ中四箇月ヤ五箇月シカナラヌモノヲ、通算シテ十五年ニナルト云フニハ、是ハ五十以上ニナルト云フコトニモナルノデ、ドウモ年金制度ハ不適當デアル、斯ウ云フ者モアリマス、ソレカラ又一面事業モ、其ノ小サイ船ハ小規模デアリマシテ、船主モ船員モ負擔能力ガ少イノデアリマス、保険料ノ如キモ出シ兼ネルト云フヤウナ小規模ノ漁船モアルノデアリマス、ソコデソレ等ニ付キマシテ何カ特例ヲ設ケタラドウカト云フコトヲ考ヘタノデアリマス、併シドウモ保険トシテヤリマス以上ハ、サウ云フ一部ノモノダケニ特別ナ安イ保険料ヲ作ルトカ、或ハ特ニ年金ノ規定ヲ變ヘルト云フヤウナコトハ、是ハ保險制度トシテ非常ニムツカシイ、出來ナイコトナンデアリマス、ソコデサウ云フモノハ一ツ實情ヲ見タ上デ、不適當ナモノハ已ムヲ得ズ除イテ行カウ、

唯除イテモ何等保護ヲシナイト云フノデハ是亦困ルト思ヒマスカラ、ソレ等ニ付キマシテハ別個ナ方法デ、三十「トン」未滿ノ漁船モ澤山アリマスノデ、是等トモ併セテ一ツ保險制度ナリ、共濟制度ナリヲ考ヘタイ、斯ウ云フ意味ニ於テ、漁船ノ全部ヲ除クノデナク、漁船ノ一部、不適當ナモノヲ調査シタ上デ勅令ヲ以テ除外例ヲ設ケタイ、斯様ナ趣旨デアリマス

○子爵松平保男君 大體分リマシタガ、唯私ガ具體的ニ斯ウ云フ風ナノハドウカト思ッタノハ、殆ド普通ノ貨物船ナリ旅客船ナリ、ソレト船ニ於テモ乗組員ノ數ニ於テモ變ラナイヤウナ捕鯨船デアリマスガ、ア、云フモノハ南洋ニ行ッテ長イ間乗ッテ居ル、船モ御承知ノ通り圖南丸デアリマストカ日新丸デアリマストカ、ア、云フ大キナ船ニ乗ッテ行ッテヤル、普通ノ此ノ法ノ恩典ヲ受ケル船ト全ク變ラナイト思フ、サウ云フヤウナ船ニモ是ハ及サナイノカ知ラヌト、斯ウ云フ風ニ思ッタモノデアリマスノデ、今伺ッタノデアリマスガ、今ノ御説明ニ依リマスト、サウ云フヤウナモノハ入ル譯デアリマスカ

○政府委員(進藤誠一君) 御話ノ通り捕鯨船トカ蟹工船トカ云フヤウナモノハ、固ヨ

リ入ルノデアリマス

○子爵富小路隆直君 先程停年制ト云フコトノ御話ガアリマシタガ、此ノ停年制ト云フ問題ハ非常ニ重大ナ問題ト思フ、停年制ト云フコトハ厚生省ニ於カレテハ十分研究ノアルコトダト思フ、一應其ノ停年制ト云フコトニ關スル大臣ノ御意見ヲ、一ツ此ノ際伺ッテ見タイト思フノデス

○國務大臣(廣瀬久忠君) 停年制ノ問題、

非常ニ重大ナ問題デアリマシテ、只今申上ダタノハ是ハ海事協同會ニ於キマシテ、船主ト船員トノ間ニ於テ造リマシタ普通船員ノ停年ニ關スル問題デアリマス、矢張り此ノ停年制ニ付キマシテ私モ深イ研究ヲ致シタ譯デアリマセヌガ、是ハソレノ矢張り職務ノ事情ニ依ッテ色々違フモノデアラウト思ヒマス、此ノ海員ナドニ付キマシテハ非常ニ仕事ガ過激デアル、其ノ結果マア現ニ停年制ガ比較的低ク決メラレテ居ルノデハナイカ、他ノ仕事ニ付テハ是ハ矢張り行ハナクテモ出來ルモノガ非常ニ多イノデアリマス、停年制ト云フヤウナモノガ定メラレテアル、社會立法ノ上デ勞務省關係ヲ決メラレタルモノデハ、マア此ノ海員ノ問題ハ最モ停年ハ低ク決メラレタル、ソレハ仕事ガ非常ニ過激デアルガ爲デアラウト思ヒ

マス、一般ノ問題ニ付テハソレノ事情ニ付テ異ルモノダト思ッテ居リマス、餘リ私モ是ト申シテ一般的ニ研究ヲ致シタ譯デアアリマセヌガ、自分ノ關係ノ部分ダケヲ御答ヘ申上ゲマス

○子爵富小路隆直君 私人モ今思付イタコトナンデ、研究モ別ニシテ居リマセヌノデ、尙研究シマシテ御質問シタイト思ヒマス、停年制ノ件ハ質問ヲ留保致シテ置キマス

○公卿鷹司信輔君 今チヨット伺ヒマシタガ、下級船員ノ停年ガ四十年ト云フ定メニナッテ居ル譯デアリマスガ、ソレカラ此ノ何ト申シマスカ、年金ノ方ハ五十年デナイト來ナイヤウニナッテ居ルノデゴザイマスガ、其ノ間ノ十年間ト云フノハ可ナリ長イ間ノヤウニ思ヒマスガ、何ト申シマスカ其ノ間ノ食ヒ繋ギヲシテ居ル生活ノ保障ト云フヤウナコトハ、何カ別段考ヘナクテモ宜イノデゴザイマスカ、何ダカチヨット分リ兼ネマスカ……

○政府委員(進藤誠一君) 只今ノ御質問デゴザイマスガ、此ノ退職候補者ニ對シマシテハ、海事協同會ノ勞資ノ協約ニ依リ規定ニ依リマシテ、退職手當ガ出ルノデアリマス、ソレハ此ノ年金ガ、此ノ保險制度ガ出來マシテモ、多少率ハ調節ヲサレルニシテ

モ存續サレコトニナルノデ、其ノ金ガ一時金トシテ貰ヘルシ、又四十位デ辭メタ者ハ、陸上ニ於テモ何カ出來ルト思ヒマスカラ、其ノ一時貰ッタ金ヲ以テ他ニ何カ仕事ヲヤツテ食ヒ繋イデ行キ、サウシテ五十ニナッタラ年金ガ入ッテ來ル、斯様ナコトニナルノデアリマス、併シナガラ私トシテハ斯様ナコトニナルノデハナイカト思ヒマスガ、將來此ノ制度ガ出來マスレバ、此ノ年金制度ノ狙ヒ所ハ其處ニアルノデスガ、斯ウ云フ制度ガアル結果、長ク海上ニ安ンジテ勤務スルヤウニナル、ト云フノハ十五年以内デ辭メルノハ僅カシカナイ、十五年以上ハ年金ガ貰ヘル、年々百分ノ一宛増シテ行クト云フコトニナレバ、働ク者ハ成ルベク長ク勤務スルト云フコトニナリ、自然勤務年限ガ長クナルノデアリマス、ソコデ中途停年制ニナツテ居リマスガ、仕事ノ種類ニ依ッテ四十五歳、五十歳トアルカラ、段々昇格シテ行ケバ高クナツテ居リマスシ、又四十歳ニナツテモサウ云フ能率ノ良イ優秀ナ者ナラバ、停年制ヲ上ゲテ使ッテ貰ヘルモノデヤナイカ、斯様ニ考ヘル、兩々相俟テソコヲ僅カノ差ハ、將來實行上ハウマク行クノデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○子爵富小路隆直君 政府ニ御願ヒシテ置

キタイノデス、先程カラ海上勞働ト云ヒマスカ海上生活ト云ヒマスガ、斯ウ云フコトノ特異性ト云フヤウナコトガ大分問題ニナツテ居ルノデス、松平子爵カラモ色々其ノ邊ノ所ノ御話ガアツタノデスガ、私共素人ニハドウモマダソレ程ハッキリト、陸上生活者ニ較ベテ海上勞働者ガ如何ナル特異性ガアルカト云フコトハ、一般的ニサウ言ヘルノデアルカドウカ、實ハ私疑フノデスガ、サウ云フ點ヲ若シ此處デサウ云フ方面ノ詳シイ御説明ニナレル方ガ、今アリマセヌデシタラ明日デモ結構デゴザイマスカラ、ドウゾ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(佐藤基善) 海上勞働ノ特異性デアリマスガ一應ノ事ヲ申上ゲマシテ、尙詳シイコトハ他ノ經驗ノアル、船舶行政ヲ扱ッテ居ル遞信省ノ方ガ宜イカト思ヒマシマス、第一ノ問題ト致シマシテ海上勞働ト申アリマス、先程御説明ノアリマシタ通り大體船ノ上デ暮シテ居ル、ソコデ普通ノ人デアレバ、勞働者ナラバ、晝前ハ工場デ働イテ晩ハ家ヘ歸ッテ來ル、處方船員ダト云フト、殊ニ遠洋航海等ニ就キマス云フト、二月三月ハ半年モ、場合ニ依ルト、殊ニ歐洲ノ方ガ景氣ガ好イ場合ニハ、船ヲ向フニ

置イテ數年間家ヘ歸ッテ來ナイ、家庭ヲ持つテ居ッテモ全然家庭ヘ歸ッテ來ナイト云フコトハ、陸上デ到底想像出來ナイ非常ナ特質デアリマス、能ク話ニアリマスガ、子供ガ生レテ段々大キナル、父親ヲ寫眞デ見テ居ル、寫眞ヲ見レバ父親ト云フコトハ分ルガ、實際本人ノ父親ガ歸ッテ來ルト、父親カドウカ分ラス、斯ウ云フコトハ船員ナント云フモノノ非常ナ特徴、陸上ノ人ノ想像出來ナイヤウナ一種ノ氣ノ毒ナ狀態ト申シマスカ、サウ云フ關係ガアルノデ、家庭ヲ離レテ居ルト云フコトハ一ツノ非常ナ問題デアル、ソレカラ又船ノ内ノ勞働デアリマシマスガ、船ノ勞働ハ勿論高級船員ナラバ肉體的ノ勞働ハソレ程デアリマセヌガ、下級船員ニナルト、例ヘバ船ノ罐焚ノキ如キ、非常ニ溫度ノ高イ所デ罐ヲ焚イテ居ル、又高イ帆柱ニ登ッカリ降りタリスル、サウ云フ勞働關係ニ於テモ相當激烈デアル、殊ニ陸上ノ勞働デアレバ、マア大體ニ於テ時間ガ限ラレテ居ル、處方海上勞働ト云フコトニナリマス、船ノ中ニ住マツテ居ルシ、又暴風ガ起ラヌトモ限ラヌ、ソコデ假ニ晝間働イテ夜休ムト云フデモ、夜暴風ガ起ルコトモアルカラ、夜ノ非常ナ勞働ヲ必要トスル場合ガアル、サウ云フ風ニ休養ノ點カラ云ヒマシ

テモ、陸上トハ非常ニ違フノデアリマス、ソレカラ尙船員ノ特異性ト致シマシテ、退職シマシテカラノ狀況ヲ申シマス、長ク船員ヲシテ居リマス云フト、所謂陸上ノ常識ニ缺ケテ居リマスカラ、ソコデ下級船員等ガ相當長ク船ニ勤メテ居リマシテ、退職スル時ニ若干ノ資金ヲ貰ッテハ、將來ハ其ノ資金ヲ元ニシテ、例ヘバ商賣ヲスルト云フヤウナ場合モアリマスガ、長イ間ノ海上生活デ陸上ノ事情ニ段々疎クナル、ソコデ商賣ヲシテモ、ナカノウマク行カナイ、海員ノ協會デ昨年ダカ其ノ前デスカ、千二百三人ニ付キマシテ船員ヲ辭シタ後ノ生活狀況ヲ調べタコトガアリマスガ、其ノ調査ニ依リマス、大部分ガ現在何ヲシテ居ルト云フ返事ヲ寄越サナイ、是ハ恐ラク行衛不明ニナッタ者モアリマセウシ、又サウ云フ協會ニ自分ノ現在ノ生活ヲ知ラスコトヲ恥デルト云フ關係モアルト思ヒマス、ソレデ千二百三人ノ調査ノ結果、ドウヤラ普通ニ暮シテ居ル者ハタツタ四十人ト云フ調モアル位デアリマシデ、サウ云フ話モ海員協會ノ御方ニ聞イタコトデアリマス、サウ云フ風デ總テノ點ニ於キマシテ陸上ト海上トハ非常ニ違フノデゴザイマス、今私ノ知ッテ居ルコトヲ大體御答ヘ致シ次第デアリマス

○子爵富小路隆直君 今色々伺ヒマシタガ、確カニ第一ノ點ハ、海上生活者ガ長イ間家庭ト別レテ居ルト云フヤウナコトハ確カニ特異性デアリマセウガ、サウ云フコトヲ以テ直チニ此ノ法案ニアルヤウナ、特別ノ取扱ラスルト云フ理由ニハナラナイノデヤナイカト多少思ヘル點モアルノデスガ、マダ能ク是ハ研究シテ見マセスト分リマセヌガ、マダ他ニ何カアルノデヤナイカト思フノデスガ、ドウデゴザイマセウカ、若シモ何デゴザイマシタラ此ノ次デモ宜シウゴザイマスガ、遞信省ノ方ニデモ何デシタラ伺ッテモ宜シウゴザイマス

○政府委員(佐藤基君) 此ノ理由ト申シマスト、今申シマシタノハ船員ノ事情ニ鑑ミテ、特ニ斯ウ云フ制度ヲ設ケルト云フ一ツノ説明デアリマスガ、尙此ノ海運業ノ特殊性、及び從來ノ法制カラ見マシテ、日本ノ國ガ船舶、海運ト云フモノニ對シマシテ、ドウ云フ風ナ制度ヲヤツテ居ルカト云フコトモ、或ハ御參考ニナラウト思ヒマスカラ、チヨット述べサシテ戴キマスガ、是ハ前ニ既ニ一部分ハ説明サレテ居リマスガ、御承知ノ通り船員ノ保護立法トシテハ、舊商法、明治三十年デシタカ三十二年ニ規定ガアリ、ソレカラ現在ノ商法ノ規定ニ移リ、其ノ後船員

法ト云フ、去年制定セラレマシタ船員法ニ其ノ規定ガ移ッテ居リマスガ、非常ニ古クカラ此ノ船員ニ付テノ保護立法ガアルノデアリマス、ソレカラ又船舶ノ所謂物的施設ノ方ニ於キマシテモ、今申シマシタ通り遠洋航路補助法デアリマスガ、其ノ前身ハ既ニ三十年頃カラアリマシテ、船ト云フモノニ對シマシテハ、日本ノ海國デアルト云フ特殊性ニ鑑ミマシテ、サウ云フ風ナ保護立法ハ非常ニ進ンデ居ッタノデアリマス、處ガ此ノ船員ノ立場カラ申シマスト云フト、工場法トノ關係デ申シマスト、商法或ハ船員法ニ應ズルヤウナ陸上ノ法規ト云フモノハ、工場法ハ大正五年ニ出來テ居ル、是ハ商法ガ三十年ノ初メカラアルノニ較ベマスルト、二十年近クモ遅レテ居ルノデアリマス、ソレカラ前ニ申シマシタ航海獎勵法、現在ノ遠洋航路補助法デアリマス、航海獎勵法ト云フ産業ニ付テノ保護立法ト云フモノハ當時ハ珍シカッタノデアリマス、是ハ矢張り日本ノ海國デアアル、海運業ノ必要ナコトカラ起ッテ居ルト思ヒマス、ソレデ海運業ノ見地カラ申シマスト云フト、此ノ航海獎勵法、現在ノ遠洋航路補助法ニ依リマシテ、現在ノ千萬圓程度ノ補助金ヲ出シテ居ル、或ハ殊ニ優秀船建造ト云フコトニ付キマシテニ

三百萬圓ト云フ補助金ヲ出シテ居ル、サウ云フ風ナ物的施設ニ付キマシテハ、政府ハ非常ナ努力ヲシマシテ、補助金ヲ澤山與ヘテ日本ノ海運業ノ隆昌ヲ圖ッテ居ルト云フ次第デアリマス、處ガ海運業ト云フモノハ成程船ヲ離レテ海運業ハナイ、船ハ非常ニ必要デアリマスガ、同時ニ此ノ船ヲ運航スルニハ船員ト云フモノガナケレバナラス、處ガ從來ノヤリ方カラ見マスト、船員ニ付キマシテハ商法ナリ、或ハ現在ノ船員法ニ於テ船主ノ扶助責任ヲ認メルダケデアリマシテ、海運業ノ人的方面ニ付テノ保護獎勵策ト云フモノガ、物的方面ニ比較シマシテ相當劣ッテ居ッタト言ハザルヲ得ナイノデアリマス、殊ニ最近ニナリマスルト云フト、日本ノ物價ガ海外ノ物價ヨリ高クナリマシテ、海外ハ下ルノニ日本ノ物價ハ上ッテ來ル、サウ云フ關係デ船員ニ付キマシテモ、船員ノ給料ハ段々高クナッテ來ル、今迄日本ノ産業ガ對外的ニ非常ニ強クナッタト云フコトハ、外國人ハ「ソシヤルダンピング」ト云フノデ、日本ハ給料ガ安イ云フコトガ強味デアッタ、處ガ物價ハ段々高クナッテ來ル、給料デモ競争ハ困難ダ、ドウシテモ「サービス」デ競争シナケレバナラス、サウ云フコトニナルト優秀ナル船員ヲ長ク船ニ留メ

ルト云フ必要ガ益、強クナッテ來タノデアリマス、此ノ船員ノ勞働、或ハ船員ノ職務ト云フモノハ一朝一夕ニ出來ルモノデハアリマセヌ、矢張り相當長イ間船ニアリマシテ、十分ノ經驗ヲ積ムコトガ必要デアリマス、サウ云フ見地カラ云ッテドウシテモ優秀ナル船員ヲ長ク船ニ留メルト云フコトデナケレバ、日本ノ海運ガ對外的ニ競争スル、殊ニ貿易ト云フコトノ見地カラ言ッテモ、自國ノ船ヲ貿易スルト云フ自國船デヤルコトガ非常ニ必要デアリマス、サウ云フ關係デ從來カラ見ルト、物的ノ施設デハ相當保護獎勵策ガアリマシタケレドモ、人的方面ノ保護獎勵策ガ非常ニ缺ケテ居ッタ、ソコデ此ノ船員保險法ニ依リマシテ、勿論是ハ社會保險的ノ性質モ有スルノデアリマスガ、海運國策トシテ、海運國策ノ中デ劣ッテ居ル所ノ人的方面ニ關スル保護獎勵策ヲ講ジョウト云フコトガ一ツノ主眼點ニナッテ居リマス

○子爵富小路隆直君 私今色々御説明ヲ伺ヒマシテ、私斯ウ云フ方面カラ一ツ考ヘテ見タイト思ヒマス、勞働力ト云ヒマスカ、サウ云フ方面カラ……海上生活者モ陸上生活者モ假ニ五十年ヲ以テ停年トシテ、陸上生活者ハ五十二達シテモマダ十分ニ色々ノ

仕事ガ出来ルノニ、海上生活者ハ假ニ五十ニ達スレバ海上ノ労働ハ十分出来ナイト云フヤウナ、サウ云フ特異性ガ、此ノ海上生活者ニハナイカト云フコトモ一ツ伺ッて見タイ

○政府委員(進藤誠一君) 是ハ勿論陸上デモ色々アリマス、工業ノ中デモ重工業モアレバ輕工業モアリ、或ハ鑛山ト云フヤウナモノモアリマシテ、鑛山ノ如キモノハ是ハ五十ト云フヤウナ者デハ耐ヘ兼ねナイカモ知レマセヌケレドモ、大體陸上ノ労働ト、一般ノ見デ海上ノ労働ト較ベタラ、海上ノ方ガ過激デ、年ヲ取ッテハ働ケナイ、陸上ノ方ハ比較的年ヲ取ッテモ働ケル、斯ウ云フコトハ言ヘルト思ヒマス

○子爵富小路隆直君 私素人デアリマスガ、ドウモ私ノ考デハ却テ反對ニ行クノデヤナイカト云フヤウニモ考ヘマスガ、マア一應此ノ質問ハ此處デ一時止メテ置キマス

○濱口儀兵衛君 今労働力トカ、船員ノ多少健康ニ關聯スルヤウナ御話ガアリ、其ノコトニ關聯シマシテ、船員ノ健康ト云フモノハ普通ノ人ト比較シテ見デドンナ風ニナッテ居ルノデアリマセウカ、私ハ其ノ人ノ壽命ヤナンカモ矢張り普通ノ人カラ見タラ短カクナッテ居リマセウガ、場合ニ依ルト船員ハ

綺麗ナ所ニ居ッテ、働く時ハ働くデセウガ、其ノ以外ハ割合ニノンビリシタ生活ヲシテ居ルシ、見様ニ依ッテハ健康ガ良イヤウニモ思ヘルノデアリマスガ、ドンナ風ニナッテ居リマスカ、全ク私共ハ知識ガナイノデ御伺ヒシタイ

○政府委員(進藤誠一君) 只今ノ御質問ニ對シテ斯ウ云フ數字ガアリマスガ、之ニ依ッテ判斷出来ハセスカト思ヒマス、海上デ働イテ居ル者ノ年齢別ニ調べタモノ、之ニ依リマスト五十歳以上ノモノト云ヒマス、海上ノ船員ノ中デハ「パーセント」七シカナイノデゴザイマス、是ガ工場ノ方デ行キマス「パーセント」四、鑛山デハ「パーセント」二ト云フノデ、工場鑛山ヨリモ船ノ方ガ低イ、其ノ他四十歳以下、五十歳以下トヤッテ見マシテモ、矢張り年齢ガ海上勤務者ノ方ガ低イノデアリマス、ソレカラモウ一ツノ調ハ、日本全國ノ人間ニ付テ五十歳以上ノ者ガドノ位アルカト云フト、十四「パーセント」アル、是ハ各業種ニ依ッテ違ヒマスガ、農業ノ如キハ二十九「パーセント」モ五十歳以上ノ者ガアッテ、長生シテ居ル、其ノ次ガ水産業デ二十「パーセント」、商業ハ十八「パーセント」、工業ハ十「パーセント」、鑛山業ガ七「パーセント」、ソレニ對シ

テ船員ノ方ハ三「パーセント」シカナイト云フヤウナコトカラ見テモ、五十歳以上ノ者ハ海上ニ勤メテ居ラスト云フコトハ、言ヒ換ヘレバ勤メラレナイト云フコトデヤナイカ、ソレカラ海上勤務ヲシタ者ガ壽命ガ長イカ短カイカ、斯ウ云フ話デアリマスガ、之ニ付テハマダ統計的ニ取ツタモノガ實ハナイノデアリマス、チヨット速記ヲ止メテ戴キマス

○委員長(男爵大森佳一君) 速記中止

(速記中止)

○委員長(男爵大森佳一君) 速記ヲ始メテ……

○濱口儀兵衛君 只今伺ツタノハ、船員ガドレ位長命スルカト云フコトヲ伺ツタノデスガ、平時ノ健康状態ハドウデセウカ、普通ノ陸上ノ人カラ見タラ悪イデセウカ、全ク私等ニハ分ラナイノデ伺ッテ見タイノデスガ、サウ云フコトノ御調ハアルノデセウカ

○政府委員(進藤誠一君) 此ノ罹病率ノ方モドウモ船員ノ方ガ多イ、海上生活ヲシテ色々熱帯ノ氣候ノ違ッテ所ヘ行キマスカラ、傳染病ニ罹ル率モ多イシ、性病ナドモ矢張り多イ、ソレカラ海上ハ我々ノ想像以上ニ結構ガ多イ、是ハ海岸ニ行ケバ結構ナドニハ好イヤウニ我々陸上ノ者ハ考ヘマスガ、

海上ノミニ生活シテ居ルト云フコトハ非常ニ呼吸器ニ惡イノデ、結構病ハ寧ろ海上生活者ニ多イト云フコトガ言ヘマス、サウシテ此ノ罹病率ト云フモノ、殊ニ長イ病氣ト云フモノハ海上生活者ノ方ニ多イ、是モ實況ヲ聞イタ御話デアリマスガ、統計トシテドレダケ違フカト云フコトヲ取ツタモノヲ私持チマセヌガ、尙此處ニ病氣ノ患者ノ數ナドニ付キマシテ御参考ニナルト思ヒマスカラ、チヨット説明員ノ方カラ……

○委員長(男爵大森佳一君) 今ノ問題ニ付キマシテ説明員カラ御説明シタイト思ヒマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(男爵大森佳一君) 説明員

○説明員(齋藤齋君) 只今ノ御質問デゴザイマスガ、政府ト致シマシテ調べタモノハゴザイマセヌデスガ、海員救済會デゴザイマスガ、其ノ統計ガゴザイマシテ、是ガ衆議院ニ於キマシテ土屋委員カラ御請求ガアリマシテ、御配付致シタノデアリマスガ、複雑ニ互ルモノデスカラ、資料デ差上ゲタイト思ヒマス

○委員長(男爵大森佳一君) 濱口サシ宜シウゴザイマス

○濱口儀兵衛君 宜シウゴザイマス

○男爵小池正晃君 事務的ノコトデチョット御尋ネ致シタイノデゴザイマスガ、保険料ハドノ位ノ率デ御取リニナル御考デアリマスカ、矢張り職業保険ヨリハ率ガ高クナルノデゴザイマスカ

○政府委員(佐藤基君) 保険料ハ大體百分ノ十位ニナルト思ヒマス、前ニ御審議願ツタ職員保険ハ百分ノ二・五、是ハ百分ノ十ニナリマス、其ノ非常ニ多クナル原因ハ所謂養老年金、癯疾年金ノ長期給付ノ關係デゴザイマス

○男爵小池正晃君 モウ一ツ伺ヒタイノデスガ、保険ノ給付ノコトデアリマスガ、其ノ中デ醫療ノ給付ガ矢張り職員保険或ハ健康保險ト同ジヤウナ風ニ御ヤリニナルノデスガ、此ノ勅令案ノ要項ハ未定稿デアリマス、ソレニ依リマスルト入院診療ト云フモノガ拔ケテ居ルヤウニ思フノデアリマス、ソレハドウ云フ風ニナルノデスカ、「船員保險法施行上必要ナル勅令案要綱」ノ七頁ノ右ノ方ニ「入院」ト云フコトガ一ツモナイ、職員健康保險ノ方ノ文句ニハアリマスルガ……

○政府委員(進藤誠一君) 入院ニ付キマシテハ、法律デ申シマスト二十八條デアリマスルガ、二十八條ノ末項ニ「第一項ノ場合ニ

於テ療養上必要アリト認ムルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ヲ診療所ニ收容スルコトヲ得」此ノ療養所ト云フノハ病院モ之ヲ含シ居ルノデアリマス

○男爵小池正晃君 其處ハ分ツテ居リマスルガ、勅令案ニ今迄ノモノハ第一項カラ第六項迄書イテアリマス、診察、藥劑又ハ治療材料ノ支給、處置手術其ノ他ノ治療、入院診療、看護、移送ト云フヤウニナツテ居ル、處方此ノ點ガ此ノ案ノ方デハ五ツキリシカナイ、六項アツタモノガ五項キリ出テ居ラスヤウニ思ヒマス

○政府委員(川村秀文君) 只今御話ノ勅令案ノ第十七ハ船員保險法第二十八條第一項ノ療養ノ給付ノ範圍ハ左ノ如クスルト云フノデ、此ノ五ツノモノヲ擧ゲテアルノデアリマス、入院ノ方ハ二十八條ノ第二項ニ明示シテアリマスノデ、此ノ關係カラ、特ニ第一項關係ノコトダケヲ此ノ勅令ノ方ニ書イテアルノデス

○男爵小池正晃君 ソレハフカシイ、サウデスカ、併シ片方ニハ此ノ職業保險ノ方ニハ書イテ、外ニ謳ツテアツテ、診療ノ範圍トシテ書イテアル、コチラニハ書イテナイト云フノハフカシイデアリマセスカ、是ハ脱ケタンデセウカ

○政府委員(川村秀文君) 法律ノ方ノ二十八條ノ書キ方カラ自然ニサウ云フ風ニナリマシタ次第デ、實體ニ於テハ區別シテアル譯デハゴザイマセス

○小原直君 既ニ御質問ガアツタカモ知レマセスカ、此ノ法案實施後ニ於ケル被保險者ノ推定數ハドノ位ノモノデアリマスカ

○政府委員(佐藤基君) 大體十萬人位ト思ツテ居リマス

○小原直君 本案ノ十七條以下ニ被保險者ノ規定ガアリマスガ、此ノ規定ヲチョット見タ所ニ依リマス、船員ニシテ被保險者ニナリ、又直チニ船舶ノ乗組員ヲ罷メタガ爲ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シ、再ビ船員トシテ其ノ資格ヲ取得スルト云フヤウナコトガ相當頻繁ニ行ハレルモノデハナイカト思フ、我々船員ノ實情ヲ知ラナイ爲ニサウ云フ點ノ知識ガアリマセスカ、ドンナモノデアリマスガ、出入リガ非常ニ頻繁デアラウト思フ

○政府委員(佐藤基君) 御話ノ通り相當頻繁ニアリマス、ソコデ先程チョット説明シタノデアリマシタガ、船員ガ養老年金ノ條件ノ十五年デゴザイマスガ、其ノ十五年ト云フノハ實際上二十年ニナルト申シマスノハ結局乗船率ト云フモノハ、一年ノ内船ニ乗ッ

テ居ル時間ト云フノハ約七十六七「パーセント」、其ノ後ノ二十數「パーセント」ト云フモノハ下リテ居ル、從ツテ其ノ乗ツタリ下リタリスルコトガ相當多イト云フコトデアリマス

○小原直君 船舶カラ下リテ、矢張り會社ノ使用人デアルト、職員健康保險法ノ被保險人ニナルト云フ場合ガ大部分アルノデハナカラウカト思フノデスカ、ソコハドウナリマスガ、詰リ職員健康保險法ニ依ル被保險人ニナル、又船員保險法ニ依ル被保險人ニナルト云フコトガ交互ニ行ハレルト云フ現象ガ頻繁ニ起ラナイモノデスカ

○政府委員(佐藤基君) サウ云フ場合モアリ得ルノデゴザイマス、唯職員保險ト船員保險ノ交渉ニ關シマシテ、同時ニ兩方ノ被保險者ニハナラスヤウニシテアルノデアリマス、併シ實際上ノ問題ニ致シマス、長イ航海ヲシテ來マシテ、サウシテ船カラ下リマス、會社ニ依ツテハ豫備員ト云フヤウナ、サウ云フ制度ガ完備シタ會社デゴザイマス、豫備員ト云フモノガアツテ、給料ノ全部又ハ一部ヲ貰フ、又下級ノ船員ニナリマス、船ヲ下リルト、ソレデ會社トノ縁ハ一應切レルト云フ場合モアリマシテ、若シ此ノ船員、乗組ンデ居ルト云フ關係ガ失ク

ナツテ、會社ノ職員ニナツテ、而シテソレガ職員健康保險法ノ適用ニナル場合、サウ云フ場合ニ付キマシテハ、其ノ兩保險制度ノ交渉ニ關スル規定ガアツテ、一方ノ被保險者ニナリ、他ノ被保險者ニハナラヌコトニナツテ居リマス

○小原直君 チョット條文ノコトデ御尋ネシテ置キマス、十九條、今讀ンダバカリデ自分デ分ライノデ御尋ネスルノデスガ、十九條ノ規定ハドウ云フ意味ニナルノデスカ、但書ハドウ云フコトヲ意味スルノデアリマスカ

○政府委員(佐藤基君) 但書ハ、本文ニ依リマス、資格ヲ喪失スルト云フコトハ、例ヘバ死ンダト云フ場合ニ於キマシテハ、其ノ翌日ニ資格ヲ失フ、處ガ但書ニ依ツテ、前條ノ規定ニ依ツテ資格ヲ取得スル場合ニ於テハ、ソコニ矛盾ガ起ルノデ、例ヘバ今日下リタ、サウシテ翌日乗ツタト云フ場合ニ於テハ、翌日乗ルト云フコトガ十八條デ資格ヲ取得スルシ、十九條ノ本文ニ依ルト、翌日迄資格ガアルコトニナツテ、其ノ下リテ翌日乗ツタ、翌日ト云フモノガ資格ガダブルコトニナル、ソコデ但書デサウ云フ場合ニハ、十九條ノ關係ハ、資格ハ下リタ日デ失クナツテ、翌日乗レバ、十八條デ資格ヲ取得

スルト、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス
○小原直君 結局サウスルト一日短縮スルト云フコトニナリマスカ

○政府委員(佐藤基君) サウ云フコトニナリマス、是ハ現在ノ勞働者ノ健康保險法ニモ同ジヤウナ規定ガアリマス

○委員長(大森佳一君) 今日ハ是デ御異存ガナケレバ散會致シタイト思ヒマス、明日午前十時カラ更ニ開會致シマス

午前十一時五十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵大森 佳一君

副委員長 子爵實吉 純郎君

委員

公爵鷹司 信輔君

子爵松平 保男君

子爵富小路隆直君

小原 直君

河井 彌八君

男爵小池 正晃君

下村 宏君

男爵園田 武彦君

濱口儀兵衛君

松岡 潤吉君

國務大臣

厚生大臣 廣瀨 久忠君

政府委員

保險院長官 進藤 誠一君

保險院總務局長 佐藤 基君

保險院社會保險局長 清水 玄君

保險院書記官 川村 秀文君

説明員

保險院技師 齋藤 齋君